



# 10月 どうぶつグループだよ

2022.10.1

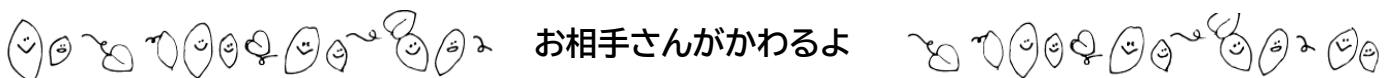


うんどうあそびの日は暑い中、参加してくださりありがとうございました。またテントの準備や片付け、コロナ感染予防にもご協力いただきありがとうございました。

どうぶつグループは、いろいろなどうぶつさんになり、ジャンプや横歩き、スキップなどで体を動かして、まねっこあそびを楽しみました。ゆりさんとは、うんどうあそびでは何を頑張るのか、どんなことを見てもらいたいのかなど沢山、話し合ってきました。また、最後のうんどうあそびということもあり子どもたち自身も“ガンバル”という気持ちを強く持っていました。ばらさんは、ドキドキの気持ちもありましたが「タノシミ!」、「ガンバロウ」などお友だちや保育者にお話をする姿が見られました。さくらさんは、幼児さんとしての初めてのうんどうあそびだったということもあり、ドキドキしている姿もありましたがお友だちやお相手さんがいることで安心して楽しむことができました。あそびの中でも、お相手さんが困っていると、手を差し出してくれるゆりさんの姿も見られました。手を差し述べてくれるお相手さんがいることで一緒に頑張ること、楽しむことができたのではないかと思います。そんな縦割りならではの関わりをこれからも大切にしながら、1期から楽しんできたまねっこあそびなど繰り返し楽しみ、子どもたちと一緒にあそびを広げて楽しんでいきたいと思っています。



ゆりさんは、八瀬のお泊り保育で魔女さんからもらったまほうのつえを使って色々なあそびをしてきました。また、個人縄跳びで10回飛ぶことも見てもらいたいと練習してきました。うんどうあそびの日は、「お父さん・お母さんにかっこいいところを見てもらいたい」という言葉が子ども達から出ました。実際、浅原公園でうんどうあそびの日の練習がはじまると自分のすることが終わるとお友達と話したり、砂遊びをする姿がありました。リズムに合わせ、つえを飛ばす時にも、お友達とリズムが合わせられない子どももいました。子ども達に「かっこいいところを見てもらうのは、どうすることなのかな?」と尋ねると、「自分が終わってもしゃべらない・砂遊びをしない」という意見が出ました。練習最後の浅原公園でも、かっこいい姿で終わることが出来ずに終わったゆりさん。かっこよく出来ずに終わった悔しい気持ちや、本番では、頑張ろうと思う気持ちなど、色々な気持ちを感じている姿が見られました。また、ゆりさんみんなでうんどうあそびの日をするのは最後になることやみんなで心を合わせてかっこいいゆりさんを見てもらおうと話しました。雨天の為、浅原公園で練習できないときや夕方、ホールで何度もゆりのあそびを練習しました。リズムに合わせてつえを飛ばすことができるようになったお友達は、「上手に飛べるようになってきた」と嬉しそうに話してくれました。縄跳びが苦手なお友達はお父さん・お母さんと一緒に練習してもらうことで飛ぶ回数が増えてきました。うんどうあそびの日を通して、自分だけが頑張るのではなく、お友達と心を合わせて取り組むことやお友達の頑張っている姿も一緒に応援していくことでゆりさんみんなが出来たという達成感を感じてくれたと思います。また、苦手なこともお父さん・お母さんが一緒に取り組んでもらい、練習することでできるようになることを実感し、自信につながれたと思います。



今月は、ばらさんのお友だちのグループがえをします。ばらさんがグループが変わることで、さくら・ゆりのお相手さんも変わるところがあります。今まで一緒に過ごしてきたお相手さんが変わることで、少し寂しい思いをするお友だちもいるかと思いますが、子どもたちの気持ちの変化を見ながら新しい環境、それぞれのグループのあそびを楽しめるように関わっていきたくと思っています。

(お願い)

- ・散歩に出かける機会が多くなります。登園は、9:00までに朝の準備が終わるようにお願いします。
- ・涼しくなっていますが、部屋の中では体を動かすことも多く体温が上がりますので、厚着にならないようにしてください。ズボン、半ズボンをお願いします。(裏起毛やフリースの服やズボンは、さけてください。)